



TITLE:

京大東アジアセンターニューズレター 第561号

AUTHOR(S):

京都大学経済学研究科東アジア経済研究センター

CITATION:

京都大学経済学研究科東アジア経済研究センター. 京大東アジアセンターニューズレター 第561号. 京大東アジアセンターニューズレター 2015, 561

ISSUE DATE:

2015-03-16

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/196641>

RIGHT:

2015 年 3 月 16 日発行第 561 号

CONTENTS

上海街角インタビュー ⑦	2
【中国経済最新統計】	5



上海街角インタビュー ⑦①

社団法人大阪能率協会アジア・中国事業支援室副室長（海外委員）

順利包装集团董事长（在上海）

福喜多技術士事務所所長

福喜多俊夫

中国の英語教育 あなたの時代、いつから英語の授業が始まりましたか？

先に小1児童の追っかけをしたとき、1年生の1学期から週3回の英語の授業があるのに驚いたが、日本では中3で習う「現在完了」が小6で出てくるのにまた驚いた。しかし、町で出会う若者はそれほど英語が出来るわけではない。日本は英語が通じない国だといわれるが、上海の町も似たようなものだ。仕事の間でも一流大学の卒業生はかなり英語が使えるが、我社の大学卒は一人を除いて、とても仕事で使えるレベルではない。中国で小学校の英語教育を試験的に始めたのは2001年からで、全国展開は2005年からである。小3からが対象となっていた。しかし、北京、上海、天津等大都市ではほぼ100%小1からカリキュラムに取り入れたという。それでは、街場で出会う人々はいつから英語の授業を受け始めたのだろうか？

1. 50歳代前半の男性

私の時代は中学から英語の授業がありました。中学校3年、高校3年、大学4年、都合10年間英語の授業がありましたが、学校の授業は文法と単語を覚えることが主体だったので会話は苦手です。恐らく英語の授業は中国全土で見ればかなり差があったと思いますが、私が大学に入った頃はすでに大学入試は全国統一試験で、英語の試験がありましたから、高校はかなり一生懸命英語教育をやっていたと思います。

会話は教科書英語では上達しないと思います。小4の娘の教科書を見ると、会話のスキットで使われている英語は非常に硬いです。日常会話ではもっと柔らかい表現が使われると思います。

2. 30歳代前半の女性

私は中学校から英語の授業を受けました。私のクラスの英語教師はとてもきれいな発音をしていました。でも、先生が外国人と話しているところを見たことがないので、彼が外国人と自由にコミュニケーションできたかはわかりません。私は英語に興味があったので中学3年、高校3年間はまじめに勉強しました。大学のカリキュラムでは英語の授業はそれほど重視されていなかったため、卒業試験に合格する程度（CET-4 カレッジ・イングリッシュテスト4級）しか勉強しませんでした。私は会話学校には通わなかったため大学を卒業した時点では会話力は低か

ったですが、アメリカ系の会社へ勤めたので実地で鍛えられました。会話は実際に使うのが上達の早道です。

3. 40 歳代前半の男性

私は小4（1984年）から英語の教育を受けました。中学3年、高校3年間英語の授業を受けましたが、大学は日本語コースを取ったので、英語の卒業試験は受けていません。

高校で受けた英語の授業は受験英語なので、使い物になりません。

4. 40 歳代中頃の女性

上海では10年以上前から小1から英語の授業を受けています。私は小3から英語の授業を受けました。私が通った小学校、中学校は英語教育のモデル校で、英語教師は全員きれいな英語を話しました。教科書は香港のものを使いました。学校ではネイティブスピーカーとの会話の時間もありました。それでも、私が日常会話に不自由しなくなったのはアメリカ系の会社に勤めてからです。外国語はそれを使う環境にないと上達しません。

上海では多くの子どもが英会話学校に通っており、20歳代の若者の多くは英会話が出来ます。しかし、この現象は上海のような都会に限定されると思います。中国全土を見れば、まだまだ、英語レベルは低いでしょう。これは教える先生のレベルによります。

5. 40 歳代後半の男性

英語の授業は中学校1年からです。中学3年、高校3年学びましたが、全く身につけていません。専門学校では英語の授業はありませんでした。（機械英語のような専門分野の授業はありましたが）今は、英語で話しかけられても全く理解できませんし、簡単な言葉も出てきません。英語の文章も読めないし、書けません。

6. 50 歳代中頃の女性

中学1年から学びました。英語の授業は中学校3年間、高校3年間ありましたが、専門学校ではありませんでした。英語会話は全くできません。文章は書けないし、簡単な単語の意味が分かる程度です。

7. 20 歳代前半の女性 大学院生

小学校1年から英語の授業がありました。小学校の時から日本の漫画の英語版を読んでいたので、いつの間にか英語の小説くらいは読めるようになりました。「名探偵コナン」は愛読漫画でした。英語と日本語の日常会話は問題ありません。

8. 60 歳代前半の男性

中学校1年から授業がありました。高校3年まで学んだけれど、先生も教科書

を読むのが精一杯というレベルだったから、授業は教科書を読んで訳するだけ、会話など全く経験したことはありません。今も会話は全く出来ないし、英語の文章は簡単なものでも理解できません。

9. 40 歳代後半の女性

小学校 1 年から授業がありました。大学を卒業するまで英語を合計 15 年学びました。学校以外の英語塾に行ったことはありません。上海外国語大学ですが日本語を専攻したので、英語は自信がありません。(英語も日本語も全く問題なく会話が出来た)

10. 20 歳代前半の男性

英語は小 1 からです。大学を卒業するまでずっと授業はありましたが、高校時代は大学受験のための文法中心の英語だったし、大学もコミュニケーションのための英語じゃなかったから会話能力は低いです。でも、単語はたくさん知っているから、片言英語で外国人と結構意志疎通できます。

中国は 2001 年から国際化を見据えて英語教育に力を入れたしたが、当初は日本と同じでレベルの高い教員を確保することが難しかったようで、30 歳代以上の人の英語力は日本人と大差ないように感じた。しかし、これからは、小 1 から学ぶ英語基礎能力が力を発揮し、国際化が進む環境の中で、英語を自在に使いこなす人が増えてくるのではないだろうか。

2015 年 2 月 17 日付人民網によれば、2013 年度の英語運用能力テスト (TOEFL) 国別平均スコアを基に作成したアジア圏の TOEFL 平均点ランキングで日本は 31 カ国中 26 位だったとのこと。因みに中国は 20 位だった。日本の下はモンゴル、カンボジア、タジキスタン、ラオス、東チモール。

- | | |
|-----|--------------------|
| 1 位 | シンガポール |
| 2 位 | インド |
| 3 位 | パキスタン |
| 4 位 | マレーシア |
| 5 位 | フィリピン |
| 6 位 | 韓国 |
| 7 位 | スリランカ |
| 8 位 | バングラデシュ |
| 9 位 | 香港、インドネシア、ネパール、北朝鮮 |

以上

【中国経済最新統計】

	① 実 質 GDP 増加率 (%)	② 工 業 付 加 価 値 増加率 (%)	③ 消費財 小売総 額増加 率(%)	④ 消費者 物価指 数上昇 率(%)	⑤ 都市固 定資産 投資増 加 率 (%)	⑥ 貿易収 支 (億ドル)	⑦ 輸 出 増加率 (%)	⑧ 輸 入 増加率 (%)	⑨ 外国直 接投資 件数の 増加率 (%)	⑩ 外国直 接投資 金額増 加率 (%)	⑪ 貨幣供 給量増 加 率 M2(%)	⑫ 人民元 貸出残 高増加 率(%)
2005年	10.4		12.9	1.8	27.2	1020	28.4	17.6	0.8	▲0.5	17.6	9.3
2006年	11.6		13.7	1.5	24.3	1775	27.2	19.9	▲5.7	4.5	15.7	15.7
2007年	13.0	18.5	16.8	4.8	25.8	2618	25.7	20.8	▲8.7	18.7	16.7	16.1
2008年	9.0	12.9	21.6	5.9	26.1	2955	17.2	18.5	▲27.4	23.6	17.8	15.9
2009年	9.1	11.0	15.5	▲0.7	31.0	1961	▲15.9	▲11.3	▲14.9	▲16.9	27.6	31.7
2010年	10.3	15.7	18.4	3.3	24.5	1831	31.3	38.7	16.9	17.4	19.7	19.8
2011年	9.2	13.9	17.1	5.4	24.0	1549	20.3	24.9	1.1	9.7	13.6	14.3
2012年	7.7	10.0	14.3	2.7	20.7	2303	7.9	4.3	▲10.1	▲3.7	13.8	15.0
2013年	7.7	9.7	11.4	2.6								14.1
1月				2.0	20.8	291	25.0	29.0	-12.4	-3.4	15.9	15.4
2月				3.2		153	21.7	-14.9	-35.6	6.3	15.2	15.1
3月	7.7	8.9	12.6	2.1	21.5	-9	10.0	14.2	-19.7	5.7	15.7	14.9
4月		9.3	12.8	2.4	19.8	182	14.6	16.6	13.9	0.4	16.1	14.9
5月		9.2	12.9	2.1	19.7	204	0.9	-0.1	-14.4	0.3	15.8	14.5
6月	7.5	8.9	13.3	2.7	19.9	271	-3.3	-0.9	-17.3	20.1	14.0	14.1
7月		9.7	13.2	2.7	20.2	178	5.1	10.8	1.2	24.1	14.5	14.3
8月		10.4	13.4	2.6	21.4	285	7.1	7.1	-11.7	0.6	14.7	14.1
9月	7.8	10.2	13.3	3.1	19.6	152	-0.4	7.4	-16.8	4.9	14.2	14.3
10月		10.3	13.3	3.2	19.2	311	5.6	7.5	-8.2	1.2	14.3	14.1
11月		10.0	13.7	3.0	17.6	338	12.7	5.4	-9.3	2.3	14.2	14.2
12月	7.7	9.7	13.6	2.5	17.2	256	4.3	8.6	-3.4	-42.6	13.6	14.1
2014年												
1月				2.5	19.8	319	10.5	10.8	-8.6	-4.5	13.2	14.3
2月				2.0		-230	-18.1	10.4	1.3	4.0	13.3	14.2
3月	7.4	8.8	12.2	2.4	17.3	77	-6.6	-11.3	6.1	-1.5	12.1	13.9
4月		8.7	11.9	1.8	16.6	185	0.8	0.7	0.5	3.4	13.2	13.7
5月		8.8	12.5	2.5	16.9	359	7.0	-1.7	8.4	-6.6	13.4	13.9
6月	7.5	9.2	12.4	2.3	17.9	316	7.2	5.5	10.3	0.2	14.7	14.0
7月		9.0	12.2	2.3	15.6	473	14.5	-1.5	14.0	-17.0	13.5	13.4
8月		6.9	11.9	2.0	13.3	498	9.4	-2.1	5.2	-14.0	12.8	13.3
9月	7.3	8.0	11.6	1.6	11.5	310	15.1	7.2	9.4	1.9	11.6	13.2
10月		7.7	11.5	1.6	13.9	454	11.6	4.6	8.7	1.3	12.1	13.2
11月		7.2	11.7	1.4	13.4	545	4.7	-6.7	-8.6	22.2	12.0	13.4
12月	7.3	7.9	11.9	1.5	12.6	496	9.5	-2.3	6.1	10.3	11.0	13.6
2015年												
1月				0.8		600	-3.3	-20.0	2.2	-1.1	10.6	14.3
2月				1.4		606	48.3	-20.8	49.8	0.1	11.1	14.7

注：1. ①「実質 GDP 増加率」は前年同期（四半期）比、その他の増加率はいずれも前年同月比である。

2. 中国では、旧正月休みは年によって月が変わるため、1月と2月の前年同月比は比較できない場合があるので注意されたい。また、（ ）内の数字は1月から当該月までの合計の前年同期に対する増加率を示している。

3. ③「消費財小売総額」は中国における「社会消費財小売総額」、④「消費者物価指数」は「住民消費価格指数」に対応している。⑤「都市固定資産投資」は全国総投資額の86%（2007年）を占めている。⑥—⑧はいずれもモノの貿易である。⑨と⑩は実施ベースである。

出所：①—⑤は国家统计局統計、⑥⑦⑧は海関統計、⑨⑩は商務部統計、⑪⑫は中国人民銀行統計による。